

点検・評価項目	点検結果	評価結果	改善・向上に向けた計画																																																																																							
「AI・データサイエンス」関連科目の履修・修得状況、全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況について	「AI・データサイエンス」プログラムとして該当する科目について、本年度の履修・修得状況等は以下の通りである。 <table><tr><th>プログラム名</th><th>科目名</th><th>必・選</th><th>単位</th><th>在籍者数</th><th>履修者</th><th>履修率</th><th>修得者</th><th>修得率</th><th>GPA</th></tr><tr><td rowspan="3">AI・データサイエンス ※右記科目を全て修得</td><td>データリテラシー</td><td>必修</td><td>1</td><td rowspan="9">127名</td><td>128</td><td>101%</td><td>126</td><td>98%</td><td>2.74</td></tr><tr><td>情報リテラシー</td><td>必修</td><td>1</td><td>128</td><td>101%</td><td>126</td><td>98%</td><td>2.98</td></tr><tr><td>ビジネスソフト活用</td><td>必修</td><td>1</td><td>128</td><td>101%</td><td>121</td><td>95%</td><td>1.89</td></tr><tr><td rowspan="5">AI・データサイエンスプラス ※上記科目に加え 5単位以上修得</td><td>プログラミング基礎</td><td>選択</td><td>1</td><td>26</td><td>20%</td><td>26</td><td>100%</td><td>2.49</td></tr><tr><td>デジタル画像編集</td><td>選択</td><td>2</td><td>35</td><td>28%</td><td>31</td><td>89%</td><td>2.39</td></tr><tr><td>デジタルデザイン</td><td>選択</td><td>2</td><td>32</td><td>25%</td><td>32</td><td>100%</td><td>2.91</td></tr><tr><td>動画コンテンツ制作</td><td>選択</td><td>2</td><td>14</td><td>11%</td><td>13</td><td>93%</td><td>2.75</td></tr><tr><td>Webデザイン</td><td>選択</td><td>1</td><td>54</td><td>43%</td><td>49</td><td>91%</td><td>2.33</td></tr><tr><td colspan="8">平均</td><td>95.4%</td><td>2.56</td></tr></table>	プログラム名	科目名	必・選	単位	在籍者数	履修者	履修率	修得者	修得率	GPA	AI・データサイエンス ※右記科目を全て修得	データリテラシー	必修	1	127名	128	101%	126	98%	2.74	情報リテラシー	必修	1	128	101%	126	98%	2.98	ビジネスソフト活用	必修	1	128	101%	121	95%	1.89	AI・データサイエンスプラス ※上記科目に加え 5単位以上修得	プログラミング基礎	選択	1	26	20%	26	100%	2.49	デジタル画像編集	選択	2	35	28%	31	89%	2.39	デジタルデザイン	選択	2	32	25%	32	100%	2.91	動画コンテンツ制作	選択	2	14	11%	13	93%	2.75	Webデザイン	選択	1	54	43%	49	91%	2.33	平均								95.4%	2.56	履修率は11%～101%と科目間で差が見られ、修得率は89%～100%と全体的に高い水準を維持している。このことから、履修者数には差があるものの、履修した学生は概ね良好な学修成果を上げていることがうかがえる。その要因として、少人数教育や学習意欲・目的意識の高い学生の履修などが考えられる。	・修得率の高い水準を維持できるよう、授業方法や学習支援の取組を継続する ・履修率の低い科目については、学生ニーズや履修状況を分析し、履修モデルや時間割配置、ガイダンスの充実などを通じて履修しやすい環境を整備する。 ・履修率の高い科目との比較・分析を行い、教育課程全体の適正な履修バランスの実現を図る。
プログラム名	科目名	必・選	単位	在籍者数	履修者	履修率	修得者	修得率	GPA																																																																																	
AI・データサイエンス ※右記科目を全て修得	データリテラシー	必修	1	127名	128	101%	126	98%	2.74																																																																																	
	情報リテラシー	必修	1		128	101%	126	98%	2.98																																																																																	
	ビジネスソフト活用	必修	1		128	101%	121	95%	1.89																																																																																	
AI・データサイエンスプラス ※上記科目に加え 5単位以上修得	プログラミング基礎	選択	1		26	20%	26	100%	2.49																																																																																	
	デジタル画像編集	選択	2		35	28%	31	89%	2.39																																																																																	
	デジタルデザイン	選択	2		32	25%	32	100%	2.91																																																																																	
	動画コンテンツ制作	選択	2		14	11%	13	93%	2.75																																																																																	
	Webデザイン	選択	1		54	43%	49	91%	2.33																																																																																	
平均								95.4%	2.56																																																																																	
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度と学修成果について	「AI・データサイエンス」関連科目に該当する上記8科目の授業評価アンケートより、理解度を分析した。アンケート項目の「到達目標を達成（理解）できた」との質問に対して、以下の状況である。 ※（ ）内は昨年度数値 5：そう思う30.1%（38.5%） 4：どちらかといえばそう思う46.2%（45.1%） 3：どちらでもない18.0%（14.8%） 2：どちらかといえばそう思わない4.5%（1.6%） 1：そう思わない1.1%（0%） 5点満点において平均「4.0ポイント（4.20ポイント）」 以上より、8割以上の履修者が概ね授業内容を理解していると判断できる。	アンケート結果から、一定程度の理解と学修成果の達成がされていると判断できる。しかし、理解不足と判断される履修者への対応については、今後の改善が必要である。	・アンケート結果を科目別に分析し、授業改善計画→実施→評価→見直しのPDCAを確立する。 ・授業内での質問・確認の時間を定常化し、理解度の低い履修者を早期に把握してフォローする。 ・ポートフォリオや振り返りシートを活用し、学生自身が学びの到達度を把握できる仕組みを整える。																																																																																							
「AI・データサイエンス」関連科目受講者の進路、活躍状況、企業等の評価について	当該教育プログラムは導入から2年が経過し、初年度入学生が修了したことでワンサイクルが完了した。修了者の就職先は情報通信業などプログラムで身につけた知識・技能を活用し得る分野への就職が一定程度見られる。企業等を対象としたアンケート調査については今年度8月に実施を予定しており、修了者に求められる能力や教育内容に対する評価項目の把握を進める計画である。	企業等からの評価情報は今後収集される段階にあり、修了者の活躍状況を含めた評価体制の充実に向けて改善の余地がある。	・企業等を対象としたアンケート調査を8月以降に実施し、教育内容や修了者に対する評価情報を体系的に収集する。 ・収集したフィードバックを教育内容の更新サイクルに組み込み、継続的な改善を図る。																																																																																							

※補足説明

- ・履修者数および修得者数は、2024年度・2025年度の合計。
- ・履修率は、在籍者数に対する履修者数の割合。
- ・履修者数には、再履修者を含む。
- ・在籍者数は、2025年度 of 教育活動を反映するため、卒業式前日（2026年3月20日）時点の数を使用。
- ・修得率は、履修者数に対する修得者数の割合。
- ・GPAは、2024年度・2025年度の平均値。